

PCA商魂・商管Xシリーズ

汎用データレイアウト



ピー・シー・エー株式会社

(第12版 2020年4月)

1.0-5.03

目次

概要（レイアウトの見方）	P. 1	期間単価マスター	P. 28
概要（補足説明）	P. 2	得意先別期間単価マスター	P. 29
改訂履歴	P. 3	得意先別単価マスター	P. 30
対応方法	P. 5	仕入先別単価マスター	P. 31
データVersionと ソフトRevision対応表	P. 6	数量別単価マスター	P. 32
◆マスター		得意先別数量別単価マスター	P. 33
会社口座マスター	P. 7	数量別期間単価マスター	P. 34
倉庫マスター	P. 8	得意先別数量別期間単価マスター	P. 35
部門マスター	P. 9	単位別単価マスター	P. 36
担当者マスター	P. 10	単位別期間単価マスター	P. 37
摘要マスター	P. 11	単位別数量別単価マスター	P. 38
締日マスター	P. 12	単位別数量別期間単価マスター	P. 39
プロジェクトマスター	P. 13	◆伝票	
得意先区分マスター	P. 14	見積明細データ	P. 40
得意先マスター	P. 15	受注明細データ	P. 41
直送先マスター	P. 17	売上伝票データ	P. 42
仕入先区分マスター	P. 18	売上明細データ	P. 43
仕入先マスター	P. 19	入金データ	P. 44
出荷先マスター	P. 20	発注明細データ	P. 45
商品区分マスター	P. 21	仕入伝票データ	P. 46
商品マスター	P. 22	仕入明細データ	P. 47
ロットマスター	P. 23	出荷明細データ	P. 48
在庫マスター	P. 24	支払データ	P. 49
ロット別在庫マスター	P. 25	振替明細データ	P. 50
セット商品マスター	P. 26	◆セキュリティ	
部品展開マスター	P. 27	システムユーザー	P. 51

■レイアウトの見方

○出力順

レイアウト説明の表外で、キー項目を説明しています。『汎用データの作成』処理では、キー項目の昇順に出力されます。また、『汎用データの受入』処理では、各種伝票はキーが同一のものを1伝票として作成します。

○順序と項番

「順序」は1から付番された列番号です。「項番」は項目番号のことで項目と対になっており「受入パターンファイル」で利用されます。

○桁数

出力する最大桁数という意味です。

文字列は後ろのスペースを取り除き、数字は有効文字数分だけ出力されます。

全角文字を指定できる項目については、[半角桁数/全角桁数]の形で記載しています。

○可変コードの出力桁数

『会社基本情報の登録』で桁数を変更できるコードの出力桁数は以下ようになります。

※商品/得意先/直送先/仕入先/出荷先/部門/担当者/得意先区分/商品区分/仕入先区分/摘要/倉庫の各コードが該当します。

数字コードは前0で『会社基本情報の登録』の桁数分、英カナコードは文字数分出力されます。

例) "005654"、"A55"

○型の「数字(-)」

マイナスの可能性がある数値項目を意味します。マイナス数値の場合、先頭に「-」が付き、桁数は、「-」を加えたものです。プラスの場合、有効数字は1桁少なくなります。

例) 売上明細データの「売上金額」は11桁となっていますので、出力される範囲は、

-9999999999~9999999999となります。有効数字は10桁までです。

○日付項目

西暦の8桁で出力されます。 例) 20130902

○伝票No

『会社基本情報の登録』の設定に関係なく8桁で出力されます。

○変更履歴

「8V.1」と比較して、それ以降に変更があった内容を記載しています。

○選択式受入の必須項目・初期値

『汎用データの受入』処理で「受入パターンを使用する」方法で受け入れを行う際の、必須項目や受け入れしない項目の初期値を記載しています。

◎：値が必要。かつ受入パターン使用時に項目指定が必要。

「商品名2」と「コメント」（桁数が2048/2048のもの）の初期値は「スペース」と書かれていますが、SQLテーブルにはNULLで登録されます。他の「スペース」と書かれた項目は桁数分のスペースで登録されます。

○備考欄

項目の値や説明、受け入れ時の条件について記載しています。説明が長いものは欄外に記載しています。

※(前0)：数字しか入らない項目ですが前0で桁数分出力する項目です。

※(マスター)：マスターに登録されていないと、受け入れができません。

※(禁止)：使用区分が[1:禁止]のときは、受け入れができません。

商品コードについては有効期間もチェックされ期限切れ商品は受け入れしません。（振替伝票は除く）

※(ロット)：『ロット管理編』で使う項目です。

『ロット管理編』がインストールされていない環境でも項目として存在します。

○「※」印が前にある項目名

項目名称が『会社基本情報の登録』で変更できるものです。『汎用データの作成』で項目名を出力した場合、変更された名称で出力されます。

○データレコードの終わりにはCR(0x0D)、LF(0x0A)が付きます。

■補足説明

○伝票明細データの消費税について

伝票内に複数の税率が混在する場合、税率・税種別ごとの消費税額を汎用データに出力できます。
条件指示画面で「税率別伝票消費税額データを出力する」というチェックボックスをONにすることで実現できます。
出力されるデータは「データ区分」が「1」で、「税率」と「伝票消費税額」「売上税種別（仕入税種別）」に値が入ります。
ヘッダー項目には値が入りますが、他の明細項目はすべて空で出力されます。
チェックボックスをOFFにしたら「データ区分=1」の行は出力されません。

○伝票明細データの税区分、税込区分、原価税込区分の初期値について

税区分と税込区分については、値が無ければ商品マスターから持ってきます。
※商品マスターが無いときは、税区分=2、税込区分=0（税抜）とします。

原価税込区分については、値が無ければ税込区分の値と一致させます。

○伝票明細データの税率、売上税種別（仕入税種別）、原価税率、原価税種別の初期値について

<データパターンと動作概要>

パターン	税率	税種別	動作概要
①	有り	有り	そのまま受入
②	有り	無し	税率から税種別を取得
③	無し	有り	税種別から税率を取得
④	無し	無し	標準税率を取得

①そのまま受入

税率テーブルの実施日が伝票日付以前を対象として、税率と税種別が存在するか確認します。

②税率から税種別を取得

税率テーブルの実施日が伝票日付以前を対象として、実施日の降順で税率の存在確認をします。
存在した税率の税種別を取得します。

例) 売上日=[2019/10/01]、税区分=2、税率=[8.0]⇒売上税種別=[1:軽減税率]で受入
売上日=[2019/09/30]、税区分=2、税率=[8.0]⇒売上税種別=[0:標準税率]で受入

③税種別から税率を取得

税率テーブルの実施日が伝票日付以前を対象として、実施日の降順で税種別の存在確認をします。
存在した税種別の税率を取得します。

例) 売上日=[2019/10/01]、税区分=2、売上税種別=[1:軽減税率]⇒税率=[8.0]で受入
売上日=[2019/09/30]、税区分=2、売上税種別=[1:軽減税率]⇒受入できない

④標準税率を取得

税率テーブルの実施日が伝票日付以前を対象として、実施日の降順で標準税率の存在確認をします。
存在した標準税率の税率を取得します。

※原価税率・原価税種別は、税率・税種別の値と一致させる。（税率テーブルからの取得は行わない）

例) 売上日=[2019/10/01]、税区分=2 ⇒税率=[10.0]、売上税種別=[0:標準税率]で受入

◆特別な動作

◇税率=0、税種別=[1:軽減税率]のとき

税種別を[0:標準税率]にして受入

◇単価と原価の片方の税率が0のとき（見積・受注・売上明細データ）

税率と売上税種別を、原価税率と原価税種別にコピーして受入

改訂履歴

Rev.	名称	変更項目	互換性情報	変更種類
1.03	見積明細 受注明細 売上明細	「売単価」をマイナス値も可能にしました。		変更
4.00	会社口座マスター	以下の項目を、受入時の必須項目からはずしました。 金融機関名、金融機関名フリガナ、支店名、支店名フリガナ		変更
4.00	得意先マスター	以下の項目を追加しました。 送り状用紙、休日対応、休日カレンダー データバージョンを「6」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.00	仕入先マスター	以下の項目を追加しました。 休日対応、休日カレンダー データバージョンを「6」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.00	商品マスター	以下の項目を追加しました。 入数小数桁、箱数小数桁、数量端数、 有効期間開始日、有効期間終了日 入数の桁数を変更しました。(4桁→10桁) データバージョンを「6」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加 変更
4.00	在庫マスター	発注単位・最高点・注文店の桁数を変更しました。 (5桁→7桁) データバージョンを「6」に上げました。		変更
4.00	セット商品マスター	入数・箱数の桁数を変更しました。(4桁→10桁) データバージョンを「6」に上げました。		変更
4.00	部品展開マスター	入数・箱数の桁数を変更しました。(4桁→10桁) データバージョンを「6」に上げました。		変更
4.00	得意先別期間単価マスター	新規の汎用データです。		新規
4.00	見積明細データ	入数の桁数を変更しました。(4桁→10桁) 箱数の桁数を変更しました。(5桁→11桁) 改正消費税対応の「データ区分」を追加しました。 データバージョンを「6」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加 変更
4.00	受注明細データ	入数の桁数を変更しました。(4桁→10桁) 箱数の桁数を変更しました。(5桁→11桁) 改正消費税対応の「データ区分」を追加しました。 「明細納期」を追加しました。 データバージョンを「6」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加 変更
4.00	売上明細データ	入数の桁数を変更しました。(4桁→10桁) 箱数の桁数を変更しました。(5桁→11桁) 改正消費税対応の「データ区分」を追加しました。 データバージョンを「6」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加 変更
4.00	発注明細データ	入数の桁数を変更しました。(4桁→10桁) 箱数の桁数を変更しました。(5桁→11桁) 改正消費税対応の「データ区分」を追加しました。 「明細納期」を追加しました。 データバージョンを「6」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加 変更
4.00	仕入明細データ	入数の桁数を変更しました。(4桁→10桁) 箱数の桁数を変更しました。(5桁→11桁) 改正消費税対応の「データ区分」を追加しました。 データバージョンを「6」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加 変更
4.00	出荷明細データ	入数の桁数を変更しました。(4桁→10桁) 箱数の桁数を変更しました。(5桁→11桁) データバージョンを「6」に上げました。		変更
4.00	振替明細データ	入数の桁数を変更しました。(4桁→10桁) 箱数の桁数を変更しました。(5桁→11桁) データバージョンを「6」に上げました。		変更
4.10	得意先マスター	「コメント」を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.10	直送先マスター	「コメント」を追加しました。 データバージョンを「6」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.10	仕入先マスター	「コメント」を追加しました。 「振込先名」と「利用者番号」を追加しました。この2項目を 含めた振込情報の16項目を5セット持つようにしました。 データバージョンを「7」に上げました。	途中に項目を挿入したため、位 置が変更になる項目がありま す。	追加
4.10	出荷先マスター	「コメント」を追加しました。 データバージョンを「6」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.10	商品マスター	「コメント」を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.10	期間単価マスター	「期間単価名」を受入時の必須項目からはずしました。		変更
4.10	得意先別期間単価マスター	「期間単価名」を受入時の必須項目からはずしました。		変更
4.10	数量別単価マスター	新規の汎用データです。		新規
4.10	得意先別数量別単価マスター	新規の汎用データです。		新規
4.10	数量別期間単価マスター	新規の汎用データです。		新規
4.10	得意先別数量別期間単価マスター	新規の汎用データです。		新規
4.10	入金データ	以下の項目を挿入・追加しました。 電債種別、支払期日、記録番号 データバージョンを「6」に上げました。	途中に項目を挿入したため、位 置が変更になる項目がありま す。	追加
4.10	支払データ	以下の項目を挿入・追加しました。 電債種別、支払期日、記録番号、振込先番号 データバージョンを「6」に上げました。	途中に項目を挿入したため、位 置が変更になる項目がありま す。	追加

Rev.	名称	変更項目	互換性情報	変更種類
4.20	得意先マスター	「法人番号」を追加しました。 データバージョンを「8」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.20	直送先マスター	「法人番号」を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.20	仕入先マスター	「法人番号」を追加しました。 データバージョンを「8」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.20	出荷先マスター	「法人番号」を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.20	商品マスター	「商品名2」を追加しました。 データバージョンを「8」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.20	見積明細データ	「商品名2」を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.20	受注明細データ	「商品名2」を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.20	売上明細データ	「商品名2」を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.20	発注明細データ	「商品名2」を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.20	仕入明細データ	「商品名2」を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.20	出荷明細データ	「商品名2」を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.20	振替明細データ	「商品名2」を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.50	商品マスター	単位区分に関する14列を追加しました。 『ロット管理編』の項目を追加しました。 データバージョンを「9」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.50	ロットマスター	新規の汎用データです。		新規
4.50	ロット別在庫マスター	新規の汎用データです。		新規
4.50	セット商品マスター	単位区分に関する2列を追加しました。 データバージョンを「7」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.50	期間単価マスター	単位区分に関係して単価列を7列追加しました。 「期間単価」列を「標準価格」列と名称変更しました。 データバージョンを「6」に上げました。	Ver5のレイアウトは使用できなくなりました。	追加 変更
4.50	単位別単価マスター	新規の汎用データです。		新規
4.50	単位別期間単価マスター	新規の汎用データです。		新規
4.50	単位別数量別単価マスター	新規の汎用データです。		新規
4.50	単位別数量別期間単価マスター	新規の汎用データです。		新規
4.50	見積明細データ	「単位区分」を追加しました。 データバージョンを「8」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.50	受注明細データ	「単位区分」を追加しました。 『ロット管理編』の項目を追加しました。 データバージョンを「8」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.50	売上明細データ	「単位区分」を追加しました。 『ロット管理編』の項目を追加しました。 データバージョンを「8」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.50	発注明細データ	「単位区分」を追加しました。 データバージョンを「8」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.50	仕入明細データ	「単位区分」を追加しました。 『ロット管理編』の項目を追加しました。 データバージョンを「8」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.50	出荷明細データ	「単位区分」を追加しました。 『ロット管理編』の項目を追加しました。 データバージョンを「8」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
4.50	振替明細データ	『ロット管理編』の項目を追加しました。 データバージョンを「8」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
5.00	商品マスター	「仕入税込区分」「売上税種別」「仕入税種別」「税種別切替」を追加しました。 データバージョンを「10」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
5.00	見積明細データ	「売上税種別」「原価税込区分」「原価税率」「原価税種別」を追加しました。 データバージョンを「9」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
5.00	受注明細データ	「売上税種別」「原価税込区分」「原価税率」「原価税種別」を追加しました。 データバージョンを「8.1」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
5.00	売上明細データ	「売上税種別」「原価税込区分」「原価税率」「原価税種別」を追加しました。 データバージョンを「8.1」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
5.00	発注明細データ	「仕入税種別」を追加しました。 データバージョンを「8.1」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
5.00	仕入明細データ	「仕入税種別」を追加しました。 データバージョンを「9」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加
5.00	出荷明細データ	「売上税種別」を追加しました。 データバージョンを「9」に上げました。	追加項目は末尾です。	追加

対応方法

利用状況	変更内容	対応方法
商魂・商管に受け入れる場合	追加項目	受入条件で「データバージョンを指定する」を選択していただく事で、以前のレイアウトをご利用いただけます。
作成した汎用データを外部でご利用になる場合	追加項目(末尾)	追加した項目を無視できるのであれば、そのままご利用可能です。出力項目の選択によって、以前と同様の形式で出力する事も可能です。
	追加項目(途中に挿入)	出力項目の選択によって、以前と同様の形式で出力する事が可能です。
	マイナス値への対応 桁数拡張	これまでの出力範囲外の値が出力される場合があります。ご利用になる側で、対応をしていただく必要があります。

※入数、箱数について

小数の入力対応により、商品マスターで小数桁数を設定可能になるとともに、整数部が5桁になりました。
整数部は最大5桁、小数部は小数桁数設定に応じて変化します。

※期間単価マスターについて

単位区分への対応により、期間単価マスターは、商品マスターにあわせて「標準価格」「原価」「売価1」「売価2」「売価3」「売価4」「売価5」「仕入単価」を保持するようになりました。
これに伴って「期間単価」は削除されました。
主な項目が完全に入れ替わったため、Ver5の汎用データレイアウトは使用できなくなりました。

商魂・商管に受け入れる場合は、「標準価格」～「仕入単価」の適切な項目に金額を設定していただくか、もしくは、得意先の適用売価Noの影響をうけるようになったため、得意先別期間単価をご利用いただいて、得意先毎に使用する項目に金額を設定していただく必要があります。

■データVersionとソフトRevision対応表

汎用データ名称	Revision					
	1.00→3.02	4.00→	4.10→	4.20→	4.50→	5.00→
会社口座マスター	5	5	5	5	5	5
倉庫マスター	5	5	5	5	5	5
部門マスター	5	5	5	5	5	5
担当者マスター	5	5	5	5	5	5
摘要マスター	5	5	5	5	5	5
締日マスター	5	5	5	5	5	5
プロジェクトマスター	5	5	5	5	5	5
得意先区分マスター	5	5	5	5	5	5
得意先マスター	5	6	7	8	8	8
直送先マスター	5	5	6	7	7	7
仕入先区分マスター	5	5	5	5	5	5
仕入先マスター	5	6	7	8	8	8
出荷先マスター	5	5	6	7	7	7
商品区分マスター	5	5	5	5	5	5
商品マスター	5	6	7	8	9	10
ロットマスター					5	5
在庫マスター	5	6	6	6	6	6
ロット別在庫マスター					5	5
セット商品マスター	5	6	6	6	7	7
部品展開マスター	5	6	6	6	6	6
期間単価マスター	5	5	5	5	6	6
得意先別期間単価マスター		5	5	5	5	5
得意先別単価マスター	5	5	5	5	5	5
仕入先別単価マスター	5	5	5	5	5	5
数量別単価マスター			5	5	5	5
得意先別数量別単価マスター			5	5	5	5
数量別期間単価マスター			5	5	5	5
得意先別数量別期間単価マスター			5	5	5	5
単位別単価マスター					5	5
単位別期間単価マスター					5	5
単位別数量別単価マスター					5	5
単位別数量別期間単価マスター					5	5
見積明細データ	5	6	6	7	8	9
受注明細データ	5	6	6	7	8	8.1
売上傳票データ	5	5	5	5	5	5
売上明細データ	5	6	6	7	8	8.1
入金データ	5	5	6	6	6	6
発注明細データ	5	6	6	7	8	8.1
仕入伝票データ	5	5	5	5	5	5
仕入明細データ	5	6	6	7	8	9
出荷明細データ	5	6	6	7	8	9
支払データ	5	5	6	6	6	6
振替明細データ	5	6	6	7	8	8
システムユーザー	なし	なし	なし	なし	なし	なし

◆会社口座マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	会社口座コード	2	文字列		◎	※(前0)
2	2	会社口座名	40/20	文字列		◎	
3	3	金融機関コード	4	文字列		◎	※1
4	4	金融機関名	20/10	文字列	Rev4.00 ※3		
5	5	金融機関名フリガナ	15	文字列	Rev4.00 ※3		
6	6	店番号	3	文字列		◎	※1
7	7	支店名	24/12	文字列	Rev4.00 ※3		
8	8	支店名フリガナ	15	文字列	Rev4.00 ※3		
9	9	預金種目	1	数字		1(普通預金)	1:普通預金、2:当座預金、9:その他
10	10	口座番号	8	文字列		◎	
11	11	委託番号	10	文字列		スペース	
12	12	委託者名	40/20	文字列		スペース	
13	13	委託者名フリガナ	40	文字列		スペース	
14	14	区切り文字	1	数字		0(CR・LF付き)	0:CR・LF付、1:CR・LF・EOF付、2:EOF付、3:なし
15	15	手数料範囲1	5	数字		0	※2
16	16	手数料範囲2	5	数字		0	※2
17	17	手数料範囲3	5	数字		0	※2
18	18	手数料範囲4	5	数字		0	※2
19	19	手数料範囲5	5	数字		0	※2
20	20	手数料範囲6	5	数字		0	※2
21	21	手数料金額(電信1)	5	数字		0	
22	22	手数料金額(電信2)	5	数字		0	
23	23	手数料金額(電信3)	5	数字		0	
24	24	手数料金額(電信4)	5	数字		0	
25	25	手数料金額(電信5)	5	数字		0	
26	26	手数料金額(電信6)	5	数字		0	
27	27	手数料金額(電信7)	5	数字		0	
28	28	手数料金額(電信8)	5	数字		0	
29	29	手数料金額(電信9)	5	数字		0	
30	30	手数料金額(文書1)	5	数字		0	
31	31	手数料金額(文書2)	5	数字		0	
32	32	手数料金額(文書3)	5	数字		0	
33	33	手数料金額(文書4)	5	数字		0	
34	34	手数料金額(文書5)	5	数字		0	
35	35	手数料金額(文書6)	5	数字		0	
36	36	手数料金額(文書7)	5	数字		0	
37	37	手数料金額(文書8)	5	数字		0	
38	38	手数料金額(文書9)	5	数字		0	
39	39	手数料グループ	1	数字		0(使用しない)	0:使用しない、1:使用する

キー項目=「会社口座コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version=’5’ ¥”が出力されます。

※1 金融機関コードと店番号について

金融機関マスターに登録がなく、金融機関辞書にも登録がないときは、受け入れができません。

※2 手数料範囲のチェック

手数料範囲1と2が共に0ではないとき、「手数料範囲1」≥「手数料範囲2」であれば、受け入れができません。

手数料範囲3と4が共に0ではないとき、「手数料範囲3」≥「手数料範囲4」であれば、受け入れができません。

手数料範囲5と6が共に0ではないとき、「手数料範囲5」≥「手数料範囲6」であれば、受け入れができません。

※3 Rev4.00で必須項目からはずしました。

◆倉庫マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	◎	
2	2	倉庫名	30/15	文字列		◎	

キー項目 = 「倉庫コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※9V2までは「区分マスター」で出力されていました。

Xより単独で出力され、「データ区分」が無くなります。

◆部門マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	部門コード	6	文字列		◎	
2	2	部門名	30/15	文字列		◎	
3	3	倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)

キー項目 = 「部門コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

◆担当者マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁	◎	※1
2	2	担当者名	30/15	文字列		◎	
3	3	部門コード	6	文字列		桁数分の0	※(マスター)

キー項目 = 「担当者コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※1 コードがオール'0'のときは、受け入れができません。

◆ 摘要マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	データ区分	2	数字	Xで変更	◎	
2	2	摘要コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	◎	※1
3	3	摘要名	30/15	文字列		◎	

キー項目 = 「データ区分」 + 「摘要コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※1 コードがオール'0'のときは、受け入れができません。

○データ区分

- 61 (51): 見積摘要 (照会者)
- 62 (52): 見積摘要 (納入期日)
- 63 (53): 見積摘要 (納入場所)
- 64 (54): 見積摘要 (支払方法)
- 65 (55): 見積摘要 (有効期限)
- 66 (56): 見積摘要 (見積要件)
- 67 (57): 売上・仕入等の摘要
- 68 (58): 入金摘要
- 69 (59): 支払摘要

※9V2までは「区分マスター」で出力されていました。

Xより単独で出力され、「データ区分」が変更されました。カッコ内の数字は9V2R7までの区分です。

◆締日マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	データ区分	1	数字		◎	0:請求(商魂)、1:精算(商管)
2	2	締日コード	2	文字列		◎	1~99 ※(前0) ※1
3	3	締日名	30/15	文字列		◎	

キー項目 = 「データ区分」 + 「締日コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※1 コードがオール'0'のときは、受け入れができません。

◆プロジェクトマスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	※プロジェクトコード	16	文字列		◎	
2	2	※プロジェクト名	40/20	文字列		◎	
3	3	使用区分	1	数字		0(許可)	0:許可、1:禁止

キー項目 = 「※プロジェクトコード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

◆得意先区分マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	データ区分	2	数字	Xで変更	◎	
2	2	得意先区分コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	◎	※1
3	3	得意先区分名	30/15	文字列		◎	

キー項目 = 「データ区分」 + 「得意先区分コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※1 コードがオール'0'のときは、受け入れができません。

○データ区分

- 11 (31): 得意先区分 1
- 12 (32): 得意先区分 2
- 13 (33): 得意先区分 3
- 14 (): 得意先区分 4
- 15 (): 得意先区分 5

※9V2までは「区分マスター」で出力されていました。

Xより単独で出力され、「データ区分」が変更されました。カッコ内の数字は9V2R7までの区分です。

また、分類が3種類から5種類になります。

◆得意先マスター (version 8)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	得意先コード	13	文字列		◎	
2	2	得意先名1	40/20	文字列		スペース	
3	3	得意先名2	36/18	文字列		スペース	
4	4	会社敬称	6/3	文字列		スペース	
5	5	加索引	5	文字列		スペース	
6	6	会社メールアドレス	40/20	文字列		スペース	
7	7	郵便番号	8	文字列		スペース	
8	8	住所1	40/20	文字列		スペース	
9	9	住所2	36/18	文字列		スペース	
10	10	会社TEL	13	文字列		スペース	
11	11	会社FAX	13	文字列		スペース	
12	12	先方担当者名	30/15	文字列		スペース	
13	13	担当敬称	6/3	文字列		スペース	
14	14	所属部署	40/20	文字列		スペース	
15	15	役職	30/15	文字列		スペース	
16	16	携帯番号	13	文字列		スペース	
17	17	担当メールアドレス	40/20	文字列		スペース	
18	18	担当TEL	13	文字列		スペース	
19	19	担当FAX	13	文字列		スペース	
20	20	※得区分1コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
21	21	※得区分2コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
22	22	※得区分3コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
23	23	※得区分4コード	6	文字列	Xで追加	桁数分の0	※(マスター)
24	24	※得区分5コード	6	文字列	Xで追加	桁数分の0	※(マスター)
25	25	主担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁	桁数分の0	※(マスター)
26	26	適用売価No	1	数字		0(標準価格)	0:標準価格、1~5:売価1~5、6:原価
27	27	売価掛率	5	数字		100	整数3小数字1
28	28	実績管理	1	数字		0(管理する)	0:する、1:しない
29	29	売上日印字	1	数字		0(印字する)	0:する、1:しない
30	30	税換算	1	数字		0(換算不要)	0:計算不要、1:税込計算、2:税抜計算
31	31	売単価換算	1	数字		0(単価換算に準ずる)	0:単価換算に準ずる、1:税込計算(切捨て)、2:税込計算(切上げ)、3:税込計算(四捨五入)、4:税抜計算(切捨て)、5:税抜計算(切上げ)、6:税抜計算(四捨五入)
32	32	社店コード	6	文字列		スペース	
33	33	分類コード	4	文字列		スペース	
34	34	伝票区分	2	文字列		スペース	
35	35	取引先コード	6	文字列		スペース	
36	36	納品書用紙	3	数字		1	用紙の番号(ソフトが管理する内部番号。0があり印字不要を意味する) ※1
37	37	納品書社名	2	数字		0	0:印字しない、1~10:社名欄に登録した社名の番号
38	38	請求先コード	13	文字列		得意先コード	子の場合:親のコード、親の場合:得意先コードと同じ ※2
39	39	請求締日	2	文字列		得意先マスターの初期値	0~99 ※(前0) ※(マスター)
40	40	回収種別1	1	数字		0(現金)	0:現金、1:小切手、2:振込、3:手形、4:相殺
41	41	種別境界額	12	数字		0	
42	42	回収種別2	1	数字		0(現金)	0:現金、1:小切手、2:振込、3:手形、4:相殺
43	43	回収予定日	3	文字列		0	※(前0)
44	44	回収方法	1	数字		0(集金)	0:集金、1:郵送、2:その他
45	45	与信限度額	12	数字		0	
46	46	繰越残高	13	数字(-)		0	
47	47	金額端数	1	数字		0(切捨て)	0:切り捨て、1:切り上げ、2:四捨五入
48	48	消費税端数	1	数字		0(切捨て)	0:切り捨て、1:切り上げ、2:四捨五入
49	49	消費税通知	1	数字		2(納品書毎)	0:免税、1:請求書一括、2:納品書毎、3:明細単位
50	50	請求書用紙	3	数字		1	用紙の番号(ソフトが管理する内部番号) ※3
51	51	請求書社名	2	数字		0	0:印字しない、1~10:社名欄に登録した社名の番号
52	52	使用区分	1	数字	9V1で追加	0(許可)	0:許可、1:禁止
53	53	※企業コード1	20	文字列	Xで追加	スペース	
54	54	※企業コード2	20	文字列	Xで追加	スペース	
55	55	会社口座コード	2	文字列	Xで追加	スペース	※(前0) ※(マスター)
56	56	送り状用紙	3	数字	Rev4.00で追加	1(佐川急便)	用紙の番号(ソフトが管理する内部番号) ※4
57	57	休日対応	1	数字	Rev4.00で追加	0(しない)	0:しない 1:前営業日 2:翌営業日
58	58	休日カレンダー	4	文字列	Rev4.00で追加	スペース	※(前0) ※(マスター)
59	59	コメント	2048/2048	文字列	Rev4.10で追加	スペース	
60	60	法人番号	13	文字列	Rev4.20で追加	スペース	

キー項目 = 「得意先コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“%text version= 8” %”が出力されます。

- ※1 納品書用紙が登録されていないと、受け入れができません。
- ※2 得意先コードと異なる場合(子の場合)は、下記のチェックを行います。
 - ・得意先が、他の得意先マスターの請求先に設定されているときは、受け入れができません。
 - ・得意先マスターに請求先が登録されていないと、受け入れができません。
 - ・請求先の使用区分が「1:禁止」のときは、受け入れができません。
- ※3 請求書用紙が登録されていないと、受け入れができません。
- ※4 送り状用紙が登録されていないと、受け入れができません。

■納品書用紙の内部番号

値	用紙名称	備考
0	※印刷不要	
1	連続紙<301, 302, 303, 304>	
2	2連単票<1303, 13051, 1306>	
3	2連単票受領書付<13052>	
4	3連単票請求書付<1308>	
5	3連単票受領書付<1302, 1307>	
6	コンビニ回収用納品書	コンビニ収納代行オプションで出力する用紙
7	郵便振替代行用納品書	"
101~199	F/Fの用紙名称	フリーフォーマットの用紙

■請求書用紙の内部番号

値	用紙名称	備考
1	連続紙品名版<311>	
2	連続紙伝票版<312>	
3	連続紙合計版<313>	
4	単票品名版<13111, 13112>	
5	単票伝票版<13121, 13122>	
6	単票合計版<13131, 13132>	
101~199	F/Fの用紙名称	フリーフォーマットの用紙

■送り状用紙の内部番号

値	用紙名称	備考
0	※印刷不要	
1	佐川急便 一般	
2	ヤマト運輸 宅急便	
3	名鉄運輸 こぐま便	
4	西濃運輸 カガ ルミ便	
5	西濃運輸 カガ ル便	
6	福山通運	
7	郵便局 ゆうパック	
101~199	F/Fの用紙名称	フリーフォーマットの用紙

F/Fの用紙番号は「フォームの選択」画面に表示される (01) ~ (99) にプラス100した値になります。

◆直送先マスター (version 7)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	直送先コード	13	文字列		◎	
2	2	直送先名1	40/20	文字列		スペース	
3	3	直送先名2	36/18	文字列		スペース	
4	4	会社敬称	6/3	文字列		スペース	
5	5	册索引	5	文字列		スペース	
6	6	会社メールアドレス	40/20	文字列		スペース	
7	7	郵便番号	8	文字列		スペース	
8	8	住所1	40/20	文字列		スペース	
9	9	住所2	36/18	文字列		スペース	
10	10	会社TEL	13	文字列		スペース	
11	11	会社FAX	13	文字列		スペース	
12	12	先方担当者名	30/15	文字列		スペース	
13	13	担当敬称	6/3	文字列		スペース	
14	14	所属部署	40/20	文字列		スペース	
15	15	役職	30/15	文字列		スペース	
16	16	携帯番号	13	文字列		スペース	
17	17	担当メールアドレス	40/20	文字列		スペース	
18	18	担当TEL	13	文字列		スペース	
19	19	担当FAX	13	文字列		スペース	
20	20	得意先コード	13	文字列		スペース	※(マスター) ※(禁止)
21	21	使用区分	1	数字	9V1で追加	0(許可)	0:許可、1:禁止
22	22	※企業コード1	20	文字列	Xで追加	スペース	
23	23	※企業コード2	20	文字列	Xで追加	スペース	
24	24	コメント	2048/2048	文字列	Rev4.10で追加	スペース	
25	25	法人番号	13	文字列	Rev4.20で追加	スペース	

キー項目 = 「直送先コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「%text version='7' %」が出力されます。

◆仕入先区分マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	データ区分	2	数字	Xで変更	◎	
2	2	仕入先区分コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	◎	※1
3	3	仕入先区分名	30/15	文字列		◎	

キー項目 = 「データ区分」 + 「仕入先区分コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※1 コードがオール'0'のときは、受け入れができません。

○データ区分

- 31 (61) : 仕入先区分 1
- 32 (62) : 仕入先区分 2
- 33 (63) : 仕入先区分 3
- 34 () : 仕入先区分 4
- 35 () : 仕入先区分 5

※9V2までは「区分マスター」で出力されていました。

Xより単独で出力され、「データ区分」が変更されました。カッコ内の数字は9V2R7までの区分です。
また、分類が3種類から5種類になります。

◆仕入先マスター (version 8)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	仕入先コード	13	文字列		◎	
2	2	仕入先名1	40/20	文字列		スペース	
3	3	仕入先名2	36/18	文字列		スペース	
4	4	会社敬称	6/3	文字列		スペース	
5	5	加索引	5	文字列		スペース	
6	6	会社メールアドレス	40/20	文字列		スペース	
7	7	郵便番号	8	文字列		スペース	
8	8	住所1	40/20	文字列		スペース	
9	9	住所2	36/18	文字列		スペース	
10	10	会社TEL	13	文字列		スペース	
11	11	会社FAX	13	文字列		スペース	
12	12	先方担当者名	30/15	文字列		スペース	
13	13	担当敬称	6/3	文字列		スペース	
14	14	所属部署	40/20	文字列		スペース	
15	15	役職	30/15	文字列		スペース	
16	16	携帯番号	13	文字列		スペース	
17	17	担当メールアドレス	40/20	文字列		スペース	
18	18	担当TEL	13	文字列		スペース	
19	19	担当FAX	13	文字列		スペース	
20	20	※仕区分1コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
21	21	※仕区分2コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
22	22	※仕区分3コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
23	23	※仕区分4コード	6	文字列	Xで追加	桁数分の0	※(マスター)
24	24	※仕区分5コード	6	文字列	Xで追加	桁数分の0	※(マスター)
25	25	主担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁	桁数分の0	※(マスター)
26	26	実績管理	1	数字		0(管理する)	0:する、1:しない
27	27	税換算	1	数字		0(計算不要)	0:計算不要、1:税込計算、2:税抜計算
28	28	支払先コード	13	文字列		仕入先コード	子の場合:親のコード、親の場合:仕入先コードと同じ ※1
29	29	支払締日	2	文字列		仕入先マスターの初期値	0~99 ※(前0) ※(マスター)
30	30	支払種別1	1	数字		0(現金)	0:現金、1:小切手、2:振込、3:手形、4:相殺
31	31	種別境界額	12	数字		0	
32	32	支払種別2	1	数字		0(現金)	0:現金、1:小切手、2:振込、3:手形、4:相殺
33	33	支払予定日	3	文字列		0	※(前0)
34	34	支払方法	1	数字		0(手渡し)	0:手渡し、1:郵送、2:その他
35	35	買掛金残高	13	数字(-)		0	
36	36	未払金残高	13	数字(-)		0	
37	37	金端端数	1	数字		0(切り捨て)	0:切り捨て、1:切り上げ、2:四捨五入
38	38	消費税端数	1	数字		0(切り捨て)	0:切り捨て、1:切り上げ、2:四捨五入
39	39	消費税計算	1	数字		2(仕入伝票毎)	0:免税、1:支払明細書一括、2:仕入伝票毎、3:明細単位、4:しない(手入力)
振込先情報1 ※5							
40	61	振込先名	40	文字列	Rev4.10で追加	スペース	
41	40	仕入先名加	30	文字列		スペース	
42	41	金融機関コード	4	文字列		スペース	※(前0) ※2
43	42	金融機関名	20/10	文字列		スペース	
44	43	金融機関名フリガナ	15	文字列		スペース	
45	44	店番号	3	文字列		スペース	※(前0) ※2
46	45	支店名	24/12	文字列		スペース	
47	46	支店名フリガナ	15	文字列		スペース	
48	47	預金種目	1	数字	Xで変更	1(普通預金)	1:普通預金、2:当座預金、9:その他
49	48	口座番号	8	文字列		7桁分の0	
50	49	手数料負担	1	数字	Xで変更	0(当方負担)	0:当方負担、1:先方負担、2:境界額以上が当方負担、3:境界額以上が先方負担
51	50	手数料境界額	12	数字		0	※3
52	51	手数料区分	1	数字	Xで変更	3(自動判定)	0:同行同支店、1:同行他支店、2:他行、3:自動判定、4:定額料金
53	52	定額料金	6	数字		0	※4
54	53	送金方法	1	数字		0(電信)	0:電信、1:文書
55	62	利用者番号	9	文字列	Rev4.10で追加	スペース	
56-71	63-78	振込先情報2 ※5			Rev4.10で追加		
72-87	79-94	振込先情報3 ※5			Rev4.10で追加		
88-103	95-110	振込先情報4 ※5			Rev4.10で追加		
104-119	111-126	振込先情報5 ※5			Rev4.10で追加		
120	54	使用区分	1	数字	9V1で追加	0(許可)	0:許可、1:禁止
121	55	※企業コード1	20	文字列	Xで追加	スペース	
122	56	※企業コード2	20	文字列	Xで追加	スペース	
123	57	会社口座コード	2	文字列	Xで追加	スペース	※(前0) ※(マスター)
124	58	休日対応	1	数字	Rev4.00で追加	0(しない)	0:しない、1:前営業日、2:翌営業日
125	59	休日カレンダー	4	文字列	Rev4.00で追加	スペース	※(前0) ※(マスター)
126	60	コメント	2048/2048	文字列	Rev4.10で追加	スペース	
127	127	法人番号	13	文字列	Rev4.20で追加	スペース	

キー項目 = 「仕入先コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「%text version= 8 %」が出力されます。

※1 仕入先コードと異なるとき(子の場合)は、下記のチェックを行います。

- ・仕入先が、他の仕入先マスターの支払先に設定されているときは、受け入れができません。
- ・仕入先マスターに支払先が登録されていないと、受け入れができません。
- ・支払先の使用区分が「1:禁止」のときは、受け入れができません。

※2 金融機関コードと店番号について

- ・片方だけ入力されているときは、受け入れができません。
- ・金融機関マスターに登録がなく金融機関辞書にも登録がないときは、受け入れができません。
- ・金融機関マスターに登録がなく金融機関辞書に登録があるときは、金融機関辞書の内容で金融機関マスターに登録します。

※3 手数料境界額が0以外のとき、手数料負担が「0:当方負担」「1:先方負担」であれば、受け入れができません。

※4 手数料区分が「4:定額料金」以外で、定額料金が0以外のときは、受け入れができません。

※5 振込先情報1~5

「振込先名」~「利用者番号」が5セットあります。振込先情報2以降は項目名の末尾に全角数字の「2」~「5」が付きます。

◆出荷先マスター (version 7)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	出荷先コード	13	文字列		◎	
2	2	出荷先名1	40/20	文字列		スペース	
3	3	出荷先名2	36/18	文字列		スペース	
4	4	会社敬称	6/3	文字列		スペース	
5	5	册索引	5	文字列		スペース	
6	6	会社メールアドレス	40/20	文字列		スペース	
7	7	郵便番号	8	文字列		スペース	
8	8	住所1	40/20	文字列		スペース	
9	9	住所2	36/18	文字列		スペース	
10	10	会社TEL	13	文字列		スペース	
11	11	会社FAX	13	文字列		スペース	
12	12	先方担当者名	30/15	文字列		スペース	
13	13	担当敬称	6/3	文字列		スペース	
14	14	所属部署	40/20	文字列		スペース	
15	15	役職	30/15	文字列		スペース	
16	16	携帯番号	13	文字列		スペース	
17	17	担当メールアドレス	40/20	文字列		スペース	
18	18	担当TEL	13	文字列		スペース	
19	19	担当FAX	13	文字列		スペース	
20	20	主担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁	桁数分の0	※(マスター)
21	21	使用区分	1	数字	9V1で追加	0(許可)	0:許可、1:禁止
22	22	※企業コード1	20	文字列	Xで追加	スペース	
23	23	※企業コード2	20	文字列	Xで追加	スペース	
24	24	コメント	2048/2048	文字列	Rev4. 10で追加	スペース	
25	25	法人番号	13	文字列	Rev4. 20で追加	スペース	

キー項目 = 「出荷先コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「¥text version='7' ¥」が出力されます。

◆商品区分マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	データ区分	2	数字	Xで変更	◎	
2	2	商品区分コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	◎	※1
3	3	商品区分名	30/15	文字列		◎	

キー項目 = 「データ区分」 + 「商品区分コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※1 コードがオール'0'のときは、受け入れができません。

○データ区分

- 21 (41):商品区分1
- 22 (42):商品区分2
- 23 (43):商品区分3
- 24 ():商品区分4
- 25 ():商品区分5

※9V2までは「区分マスター」で出力されていました。

Xより単独で出力され、「データ区分」が変更されました。カッコ内の数字は9V2R7までの区分です。

また、分類が3種類から5種類になります。

◆商品マスター (version 10)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	商品コード	13	文字列		◎	
2	2	商品名	36/18	文字列		スペース	
3	3	システム区分	1	数字		0(共用)	0:共用、1:売上専用、2:仕入専用
4	4	マスター区分	1	数字		0(一般商品)	0:一般商品、1:雑商品、2:諸雑費、3:値引、4:記事
5	5	在庫管理	1	数字		0(管理する)	0:する、1:しない
6	6	実績管理	1	数字		0(管理する)	0:する、1:しない
7	7	※単位	4/2	文字列		スペース	
8	8	※入数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	0	
9	9	※規格・型番	36/18	文字列		スペース	
10	10	※色	7/3	文字列		スペース	
11	11	※サイズ	5/2	文字列		スペース	
12	12	※商品区分1コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
13	13	※商品区分2コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
14	14	※商品区分3コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
15	15	※商品区分4コード	6	文字列	Xで追加	桁数分の0	※(マスター)
16	16	※商品区分5コード	6	文字列	Xで追加	桁数分の0	※(マスター)
17	17	税区分	1	数字		2	0:非課税、1~9:基本情報の税率テーブル
18	18	税込区分	1	数字		0(税抜き)	0:税抜き、1:税込み ※売上税込区分です。
19	19	単価小数桁	1	数字		0(整数のみ)	0:なし、1:1桁、2:2桁、3:3桁、4:4桁
20	20	数量小数桁	1	数字		0(整数のみ)	0:なし、1:1桁、2:2桁、3:3桁、4:4桁
21	21	標準価格	9	数字		0	
22	22	原価	9	数字		0	
23	23	売価1	9	数字		0	
24	24	売価2	9	数字		0	
25	25	売価3	9	数字		0	
26	26	売価4	9	数字		0	
27	27	売価5	9	数字		0	
28	28	倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
29	29	主仕入先コード	13	文字列		スペース	※(マスター) ※(禁止)
30	30	在庫単価	9	数字		0	税抜価格固定
31	31	仕入単価	9	数字		0	
32	32	売上計算式	2	数字		0	※(マスター)
33	33	仕入計算式	2	数字		0	※(マスター)
34	34	※商品項目1	12	数字(-)		0	
35	35	※商品項目2	12	数字(-)		0	
36	36	※商品項目3	12	数字(-)		0	
37	37	使用区分	1	数字	9V1で追加	0(許可)	0:許可、1:禁止
38	38	※商品コード2	20	文字列	9V2で追加	スペース	
39	39	※商品コード3	20	文字列	9V2で追加	スペース	
40	40	入数小数桁	1	数字	Rev4.00で追加	0(整数のみ)	0:なし、1:1桁、2:2桁、3:3桁、4:4桁
41	41	箱数小数桁	1	数字	Rev4.00で追加	0(整数のみ)	0:なし、1:1桁、2:2桁、3:3桁、4:4桁
42	42	数量端数	1	数字	Rev4.00で追加	0(切捨て)	0:切り捨て、1:切り上げ、2:四捨五入
43	43	有効期間開始日	8	数字	Rev4.00で追加	0	
44	44	有効期間終了日	8	数字	Rev4.00で追加	0	
45	45	コメント	2048/2048	文字列	Rev4.10で追加	スペース	
46	46	※商品名2	256/128	文字列	Rev4.20で追加	スペース	
47	47	※単位区分2※入数	10	数字	Rev4.50で追加	0	
48	48	※単位区分2※単位	4	文字列	Rev4.50で追加	スペース	
49	49	※単位区分2単位コメント	36	文字列	Rev4.50で追加	スペース	
50	50	※単位区分3※入数	10	数字	Rev4.50で追加	0	
51	51	※単位区分3※単位	4	文字列	Rev4.50で追加	スペース	
52	52	※単位区分3単位コメント	36	文字列	Rev4.50で追加	スペース	
53	53	※単位区分4※入数	10	数字	Rev4.50で追加	0	
54	54	※単位区分4※単位	4	文字列	Rev4.50で追加	スペース	
55	55	※単位区分4単位コメント	36	文字列	Rev4.50で追加	スペース	
56	56	※単位区分5※入数	10	数字	Rev4.50で追加	0	
57	57	※単位区分5※単位	4	文字列	Rev4.50で追加	スペース	
58	58	※単位区分5単位コメント	36	文字列	Rev4.50で追加	スペース	
59	59	売上単位区分	1	数字	Rev4.50で追加	0(単位区分1)	0~4(単位区分1~5)
60	60	仕入単位区分	1	数字	Rev4.50で追加	0(単位区分1)	0~4(単位区分1~5)
61	61	ロット管理	1	数字	Rev4.50で追加	1(管理しない)	※(ロット)
62	62	仕入税込区分	1	数字	Rev5.00で追加	税込区分	0:税抜、1:税込
63	63	売上税種別	1	数字	Rev5.00で追加	0(標準税率)	0:標準税率、1:軽減税率
64	64	仕入税種別	1	数字	Rev5.00で追加	0(標準税率)	0:標準税率、1:軽減税率
65	65	税種別切替	1	数字	Rev5.00で追加	1(不可)	0:可能、1:不可

キー項目 = 「商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version=’9’ ¥”が出力されます。

◆ロットマスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※1
2	2	ロットNo	20	文字列		◎	
3	3	有効期限	8	数字		0	
4	4	使用区分	1	数字		0 (許可)	0:許可 1:禁止

キー項目 = 「商品コード」 + 「ロットNo」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

『ロット管理編』で操作できるマスターです。

- ※1 商品マスターのシステム区分が[1: 売上専用]のときは、受け入れができません。
- 商品マスターのマスター区分が[0: 一般商品]以外のときは、受け入れができません。
- 商品マスターの在庫管理が[1: しない]のときは、受け入れができません。

◆在庫マスター (version 6)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※1
2	2	倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
3	3	発注区分	2	文字列		0	※(前0)
4	4	発注単位	7	数字	Rev4.00で5桁→7桁	0	
5	5	最高点	7	数字	Rev4.00で5桁→7桁	0	
6	6	注文点	7	数字	Rev4.00で5桁→7桁	0	
7	7	主仕入先コード	13	文字列		スペース	※(マスター) ※(禁止)
8	8	ロケーションNo	8/4	文字列		スペース	
9	9	繰越在庫数	12	数字(-)		0	
10	10	現在在庫数	19	数字(-)		受入できません	
11	11	引当在庫数	19	数字(-)		受入できません	
12	12	発注残数	19	数字(-)		受入できません	
13	13	引当発注数	19	数字(-)		受入できません	
14	14	仮出荷残数	19	数字(-)		受入できません	
15	15	受注残数	19	数字(-)		受入できません	

キー項目 = 「商品コード」 + 「倉庫コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='6' ¥”が出力されます。(Rev3.xxまでは'5')

※1 商品マスターのシステム区分が[1: 売上専用]のときは、受け入れができません。

商品マスターのマスター区分が[0: 一般商品]以外のときは、受け入れができません。

商品マスターの在庫管理が[1: しない]のときは、受け入れができません。

【注意点】

○「繰越在庫数」の桁数は、『在庫の登録』で入力可能な桁数を記載しています。

(小数4桁の場合が最大で、マイナス値を考慮すると、-999999.9999となり12桁となります)

ただし、『汎用データの受入』では16桁(-9999999999.9999~9999999999.9999)の値を受け入れることができます。

○「繰越在庫数」～「受注残数」は、伝票入力時の都度更新により入力可能桁数を超えることがあります。

その場合は最大19桁(-999999999999.9999~999999999999.9999、マイナスは整数部が1桁少ない)まで出力します。

◆ロット別在庫マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※1
2	2	ロットNo	20	文字列		◎	
3	3	倉庫コード	6	文字列		桁数分の0	※(マスター)
4	4	繰越在庫数	12	数字(-)		0	
5	5	現在在庫数	19	数字(-)		受入できません	
6	6	仮出荷残数	19	数字(-)		受入できません	
7	7	受注残数	19	数字(-)		受入できません	

キー項目 = 「商品コード」 + 「ロットNo」 + 「倉庫コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“%text version='5' %”が出力されます。

『ロット管理編』で操作できるマスターです。

- ※1 商品マスターのシステム区分が[1: 売上専用]のときは、受け入れができません。
商品マスターのマスター区分が[0: 一般商品]以外のときは、受け入れができません。
商品マスターの在庫管理が[1: しない]のときは、受け入れができません。

【注意点】

- 「繰越在庫数」の桁数は、『ロット別在庫の登録』で入力可能な桁数を記載しています。
(小数4桁の場合が最大で、マイナス値を考慮すると、-999999.9999となり12桁となります)
ただし、『汎用データの受入』では16桁 (-9999999999.9999~9999999999.9999) の値を受け入れることができます。
- 「繰越在庫数」～「受注残数」は、伝票入力時の都度更新により入力可能桁数を超えることがあります。
その場合は最大19桁 (-9999999999999.9999~9999999999999.9999、マイナスは整数部が1桁少ない) まで出力します。

◆セット商品マスター (version 7)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	セット商品コード	4	文字列		◎	1~9999 ※(前0) ※1
2	2	セット商品名	36/18	文字列		スペース	
3	3	枝番	2	数字		受入できません	0~98
4	4	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止)
5	5	商品名	36/18	文字列		受入できません	
6	6	※入数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	受入できません	
7	7	※箱数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	0	※2
8	8	数量	8	数字		◎	
9	9	実績区分	1	数字		1(管理する)	0:しない、1:する
10	10	単位区分	1	数字	Rev4.50で追加	0(単位区分1)	0~4(単位区分1~5)
11	11	※単位	4	文字列	Rev4.50で追加	受入できません	

キー項目 = 「セット商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='7' ¥”が出力されます。

※1 コードがオール'0'のときは、受け入れができません。

※2 箱数が0以外のときは、下記のチェックを行います。

商品マスターの入数が0ならば、受け入れができません。

◆部品展開マスター (version 6)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	製品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
2	2	製品名	36/18	文字列		受入できません	
3	3	部品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1 ※2
4	4	部品名	36/18	文字列		受入できません	
5	5	※入数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	受入できません	
6	6	※箱数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	0	※3
7	7	構成数量	8	数字		◎	

キー項目=「製品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='6' ¥”が出力されます。(Rev3.xxまでは'5')

※1 商品のマスター区分が[0:一般商品]以外のときは、受け入れができません。

※2 製品と部品が同じときは、受け入れができません。

※3 箱数が0以外のときは、下記のチェックを行います。

部品の商品マスター上の入数が0ならば、受け入れができません。

◆期間単価マスター (version 6)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	期間単価コード	10	文字列		◎	
2	2	期間単価名	40/20	文字列			Rev4.10で必須をはずしました
3	3	単価有効期間開始日	8	数字		◎	※1
4	4	単価有効期間終了日	8	数字		◎	※1
5	5	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※2
6	7	掛率計算	1	数字		0(計算しない)	0:計算しない、1:計算する
7	6	標準価格	9	数字	Rev4.50で名称変更	※3	旧名称は「期間単価」
8	8	原価	9	数字	Rev4.50で追加	※3	
9	9	売価1	9	数字	Rev4.50で追加	※3	
10	10	売価2	9	数字	Rev4.50で追加	※3	
11	11	売価3	9	数字	Rev4.50で追加	※3	
12	12	売価4	9	数字	Rev4.50で追加	※3	
13	13	売価5	9	数字	Rev4.50で追加	※3	
14	14	仕入単価	9	数字	Rev4.50で追加	※3	

キー項目 = 「期間単価コード」 + 「商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“%text version=’6’ %”が出力されます。

※1 「単価有効期間開始日」 > 「単価有効期間終了日」のときは、受け入れができません。

※2 商品のマスター区分が[3:値引][4:記事]のときは、受け入れができません。

商品のシステム区分が[2:仕入専用]のときは、受け入れができません。

※3 どれかひとつは指定します。

◆得意先別期間単価マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	期間単価コード	10	文字列		◎	
2	2	期間単価名	40/20	文字列			Rev4.10で必須をはずしました
3	3	単価有効期間開始日	8	数字		◎	※1
4	4	単価有効期間終了日	8	数字		◎	※1
5	5	得意先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止)
6	6	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※2
7	7	期間単価	9	数字		◎	

キー項目 = 「期間単価コード」 + 「得意先コード」 + 「商品コード」
「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

- ※1 「単価有効期間開始日」 > 「単価有効期間終了日」のときは、受け入れができません。
※2 商品のマスター区分が[3: 値引][4: 記事]のときは、受け入れができません。
商品のシステム区分が[2: 仕入専用]のときは、受け入れができません。

◆得意先別単価マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	得意先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止)
2	2	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
3	3	先方商品コード	13	文字列		スペース	
4	4	単価	9	数字		0	

キー項目 = 「得意先コード」 + 「商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※1 商品のシステム区分が[2:仕入専用]のときは、受け入れができません。

◆仕入先別単価マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	仕入先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止)
2	2	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
3	3	先方商品コード	13	文字列		スペース	
4	4	単価	9	数字		0	

キー項目 = 「仕入先コード」 + 「商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※1 商品のシステム区分が[1:売上専用]のときは、受け入れができません。

◆数量別単価マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
2	2	掛率計算	1	数字		0 (計算しない)	0:計算しない、1:計算する
3	3	数量範囲 (未満)	8	数字		◎ ※2	
4	4	標準価格	9	数字		0	
5	5	原価	9	数字		0	
6	6	売価 1	9	数字		0	
7	7	売価 2	9	数字		0	
8	8	売価 3	9	数字		0	
9	9	売価 4	9	数字		0	
10	10	売価 5	9	数字		0	
11	11	仕入単価	9	数字		0	

キー項目 = 「商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「¥text version='5' ¥」が出力されます。

※1 商品のマスター区分が[0 : 一般商品]のみ受け入れ可能です。

※2 必須項目ですが、最終行には「0」を入れてください。

最終行が「0」でない場合は、自動で「0」の行を追加します。この場合、単価も「0」で登録されますので注意が必要です。

ひとつのキー項目に対して、「0」の最終行を含めて最大10行まで受け入れできます。(数量範囲が最大10段階)

最終行の「0」を除き、昇順でなければ受け入れられません。

◆得意先別数量別単価マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	得意先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止)
2	2	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
3	3	数量範囲 (未満)	8	数字		◎ ※2	
4	4	単価	9	数字		0	

キー項目 = 「得意先コード」 + 「商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※1 商品のマスター区分が[0:一般商品]のみ受け入れ可能です。

商品のシステム区分が[2:仕入専用]のときは、受け入れができません。

※2 必須項目ですが、最終行には「0」を入れてください。

最終行が「0」でない場合は、自動で「0」の行を追加します。この場合、単価も「0」で登録されますので注意が必要です。

ひとつのキー項目に対して、「0」の最終行を含めて最大10行まで受け入れできます。(数量範囲が最大10段階)

最終行の「0」を除き、昇順でなければ受け入れができません。

◆数量別期間単価マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	期間単価コード	10	文字列		◎	
2	2	期間単価名	40/20	文字列			
3	3	単価有効期間開始日	8	数字		◎	※1
4	4	単価有効期間終了日	8	数字		◎	※1
5	5	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※2
6	6	掛率計算	1	数字		0 (計算しない)	0:計算しない、1:計算する
7	7	数量範囲 (未満)	8	数字		◎ ※3	
8	8	標準価格	9	数字		0	
9	9	原価	9	数字		0	
10	10	売価 1	9	数字		0	
11	11	売価 2	9	数字		0	
12	12	売価 3	9	数字		0	
13	13	売価 4	9	数字		0	
14	14	売価 5	9	数字		0	
15	15	仕入単価	9	数字		0	

キー項目 = 「期間単価コード」 + 「商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「%text version='5' %」が出力されます。

※1 「単価有効期間開始日」 > 「単価有効期間終了日」のときは、受け入れができません。

※2 商品のマスター区分が[0:一般商品]のみ受け入れ可能です。

※3 必須項目ですが、最終行には「0」を入れてください。

最終行が「0」でない場合は、自動で「0」の行を追加します。この場合、単価も「0」で登録されますので注意が必要です。

ひとつのキー項目に対して、「0」の最終行を含めて最大10行まで受け入れできます。(数量範囲が最大10段階)

最終行の「0」を除き、昇順でなければ受け入れができません。

◆得意先別数量別期間単価マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	期間単価コード	10	文字列		◎	
2	2	期間単価名	40/20	文字列			
3	3	単価有効期間開始日	8	数字		◎	※1
4	4	単価有効期間終了日	8	数字		◎	※1
5	5	得意先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止)
6	6	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※2
7	7	数量範囲(未滿)	8	数字		◎ ※3	
8	8	単価	9	数字		0	

キー項目 = 「期間単価コード」 + 「得意先コード」 + 「商品コード」
「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

- ※1 「単価有効期間開始日」 > 「単価有効期間終了日」のときは、受け入れができません。
- ※2 商品のマスター区分が[0:一般商品]のみ受け入れ可能です。
商品のシステム区分が[2:仕入専用]のときは、受け入れができません。
- ※3 必須項目ですが、最終行には「0」を入れてください。
最終行が「0」でない場合は、自動で「0」の行を追加します。この場合、単価も「0」で登録されますので注意が必要です。
ひとつのキー項目に対して、「0」の最終行を含めて最大10行まで受け入れできます。(数量範囲が最大10段階)
最終行の「0」を除き、昇順でなければ受け入れができません。

◆単位別単価マスター (version 5)

順序	順序2	順序3	順序4	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
2	2	単位区分	1	数字		◎	0~4 (単位区分 1~5)
3	3	標準価格	9	数字		※2	
4	4	原価	9	数字		※2	
5	5	売価 1	9	数字		※2	
6	6	売価 2	9	数字		※2	
7	7	売価 3	9	数字		※2	
8	8	売価 4	9	数字		※2	
9	9	売価 5	9	数字		※2	
10	10	仕入単価	9	数字		※2	

キー項目 = 「商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「¥text version='5' ¥」が出力されます。

※1 商品のマスター区分が[0 : 一般商品]のみ受け入れ可能です。

※2 どれかひとつは指定します。

◆単位別期間単価マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	期間単価コード	10	文字列		◎	
2	2	期間単価名	40/20	文字列			
3	3	単価有効期間開始日	8	数字		◎	※1
4	4	単価有効期間終了日	8	数字		◎	※1
5	5	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※2
6	6	掛率計算	1	数字		0 (計算しない)	0:計算しない、1:計算する
7	7	単位区分	1	数字		◎	0~4 (単位区分 1~5)
8	8	標準価格	9	数字		※3	
9	9	原価	9	数字		※3	
10	10	売価 1	9	数字		※3	
11	11	売価 2	9	数字		※3	
12	12	売価 3	9	数字		※3	
13	13	売価 4	9	数字		※3	
14	14	売価 5	9	数字		※3	
15	15	仕入単価	9	数字		※3	

キー項目 = 「期間単価コード」 + 「商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“%text version='5' %”が出力されます。

※1 「単価有効期間開始日」 > 「単価有効期間終了日」のときは、受け入れができません。

※2 商品のマスター区分が[0:一般商品]のみ受け入れ可能です。

※3 どれかひとつは指定します。

◆単位別数量別単価マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
2	2	掛率計算	1	数字		0 (計算しない)	0:計算しない、1:計算する
3	3	単位区分	1	数字		◎	0~4 (単位区分 1~5)
4	4	数量範囲 (未満)	8	数字		◎ ※2	
5	5	標準価格	9	数字		0	
6	6	原価	9	数字		0	
7	7	売価 1	9	数字		0	
8	8	売価 2	9	数字		0	
9	9	売価 3	9	数字		0	
10	10	売価 4	9	数字		0	
11	11	売価 5	9	数字		0	
12	12	仕入単価	9	数字		0	

キー項目 = 「商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version= 5 ¥”が出力されます。

※1 商品のマスター区分が[0 : 一般商品]のみ受け入れ可能です。

※2 必須項目ですが、最終行には「0」を入れてください。

最終行が「0」でない場合は、自動で「0」の行を追加します。この場合、単価も「0」で登録されますので注意が必要です。

ひとつのキー項目に対して、「0」の最終行を含めて最大10行まで受け入れできます。(数量範囲が最大10段階)

最終行の「0」を除き、昇順でなければ受け入れられません。

◆単位別数量別期間単価マスター (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	期間単価コード	10	文字列		◎	
2	2	期間単価名	40/20	文字列		スペース	
3	3	単価有効期間開始日	8	数字		◎	※1
4	4	単価有効期間終了日	8	数字		◎	※1
5	5	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※2
6	6	掛率計算	1	数字		0 (計算しない)	0:計算しない、1:計算する
7	7	単位区分	1	数字		◎	0~4 (単位区分 1~5)
8	8	数量範囲 (未満)	8	数字		◎ ※3	
9	9	標準価格	9	数字		0	
10	10	原価	9	数字		0	
11	11	売価 1	9	数字		0	
12	12	売価 2	9	数字		0	
13	13	売価 3	9	数字		0	
14	14	売価 4	9	数字		0	
15	15	売価 5	9	数字		0	
16	16	仕入単価	9	数字		0	

キー項目 = 「期間単価コード」 + 「商品コード」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※1 「単価有効期間開始日」 > 「単価有効期間終了日」のときは、受け入れができません。

※2 商品のマスター区分が[0:一般商品]のみ受け入れ可能です。

※3 必須項目ですが、最終行には「0」を入れてください。

最終行が「0」でない場合は、自動で「0」の行を追加します。この場合、単価も「0」で登録されますので注意が必要です。

ひとつのキー項目に対して、「0」の最終行を含めて最大10行まで受け入れできます。(数量範囲が最大10段階)

最終行の「0」を除き、昇順でなければ受け入れができません。

◆見積明細データ (version 9)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	見積No	8	数字	9V2で6桁→8桁	◎	
2	2	見積日	8	数字		◎	
3	3	得意先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
4	4	得意先名	40/20	文字列		スペース	
5	5	先方担当者名	30/15	文字列		スペース	
6	6	部門コード	6	文字列		桁数分の0	※(マスター)
7	7	担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁	桁数分の0	※(マスター)
8	8	要件コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
9	9	要件	30/15	文字列		スペース	
10	10	成約	1	数字		0(未成約)	0:未成約、1:成約、2:キャンセル ※2
11	11	成約日	8	数字		0	※2
12	12	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※3
13	13	マスター区分	1	数字		0(一般商品)	0:一般商品、1:雑商品、2:諸雑費、3:値引、4:記事
14	14	商品名	36/18	文字列		スペース	
15	15	倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
16	16	※入数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	0	
17	17	※箱数	11	数字(-)	Rev4.00で4桁→11桁	0	※4
18	18	数量	9	数字(-)		◎(一般商品のとき)	
19	19	※単位	4/2	文字列		スペース	
20	20	単価	9	数字		0	
21	21	見積金額	11	数字(-)		0	内税商品の場合、内税額も含まれます。 ※5
22	22	原単価	9	数字		0	
23	23	原価金額	11	数字(-)		0	
24	24	粗利益	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
25	25	外税額	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
26	26	内税額	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
27	27	税区分	1	数字		商品マスターから	0:非課税、1~9:会社基本情報の税率テーブル
28	28	税込区分	1	数字		商品マスターから	0:税抜 1:税込
29	29	備考	20/10	文字列		スペース	
30	30	標準価格	9	数字		0	※6
31	31	小計マーク	1	数字	Xで変更	0	見積書の印字で使用 0:何もしない、1:次行に小計[*]、 2:小計と改ページ[/] ※7
32	32	売単価	10	数字(-)	Xでマックスも可に	0	
33	33	売価金額	11	数字(-)		0	
34	34	※規格・型番	36/18	文字列		スペース	
35	35	※色	7/3	文字列		スペース	
36	36	※サイズ	5/2	文字列		スペース	
37	37	計算式コード	2	数字		0	※(マスター)
38	38	※商品項目1	12	数字(-)		0	
39	39	※商品項目2	12	数字(-)		0	
40	40	※商品項目3	12	数字(-)		0	
41	41	※売上項目1	12	数字(-)		0	
42	42	※売上項目2	12	数字(-)		0	
43	43	※売上項目3	12	数字(-)		0	
44	44	税率	5	数字		税率表から	※8
45	45	伝票消費税額	11	数字(-)	8V2で追加	0	
46	46	照会日	8	数字	9V2で追加	0	
47	47	照会No	10	文字列	9V2で追加	スペース	
48	48	照会者コード	6	文字列	9V2で追加 Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
49	49	照会者	30/15	文字列	9V2で追加	スペース	
50	50	納入期日コード	6	文字列	9V2で追加 Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
51	51	納入期日	30/15	文字列	9V2で追加	スペース	
52	52	納入場所コード	6	文字列	9V2で追加 Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
53	53	納入場所	30/15	文字列	9V2で追加	スペース	
54	54	支払方法コード	6	文字列	9V2で追加 Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
55	55	支払方法	30/15	文字列	9V2で追加	スペース	
56	56	有効期限コード	6	文字列	9V2で追加 Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
57	57	有効期限	30/15	文字列	9V2で追加	スペース	
58	58	※7 ロジックコード	16	文字列	9V2で追加	スペース	※(マスター) ※(禁止)
59	59	※見積No2	16	文字列	9V2で追加	スペース	
60	60	データ区分	1	数字	Rev4.00で追加	0	0:明細 1:税率別伝票消費税額
61	61	※商品名2	256/128	文字列	Rev4.20で追加	スペース	
62	62	単位区分	1	数字	Rev4.50で追加	0:単位区分1	0~4(単位区分1~5)
63	63	売上税種別	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:標準税率 1:軽減税率
64	64	原価税込区分	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:税抜 1:税込
65	65	原価税率	5	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	※8
66	66	原価税種別	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:標準税率 1:軽減税率

キー項目 = 「見積No」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version=’8’ ¥”が出力されます。

- ※1 得意先に請求先が設定されているときは、下記のチェックを行います。
 - ・得意先マスターに請求先が登録されていないと、受け入れができません。
 - ・請求先に請求先が設定されているときは、受け入れができません。
- ※2 成約日が0で成約が[1:成約][2:キャンセル]のときは、受け入れができません。
成約日が0以外で成約が[0:未成約]のときは、受け入れができません。
- ※3 商品のシステム区分が[2:仕入専用]のときは、受け入れができません。
- ※4 マスター区分が[0:一般商品]で計算式コードが0のとき、箱数が0以外で入数が0ならば、受け入れができません。
- ※5 マスター区分が[0:一般商品]のとき、数量と見積金額の符号が不一致なら、受け入れができません。
マスター区分が[0:一般商品][1:雑商品]のとき、見積金額と原価金額の符号が不一致なら、受け入れができません。
- ※6 マスター区分が[1:雑商品][2:諸雑費]のとき、小数点以下に数字があると受け入れができません。
- ※7 9V.2以前の[スペース][*][/]でも、受け入れができます。
- ※8 会社基本情報の税率テーブルに登録されていないと、受け入れができません。

◆受注明細データ (version 8.1)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	受注No	8	数字	9V2で6桁→8桁	◎	
2	2	受注日	8	数字		◎	
3	3	納期	8	数字		0	
4	4	得意先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
5	5	得意先名	40/20	文字列		スペース	
6	6	直送先コード	13	文字列		スペース	※(マスター) ※(禁止)
7	7	先方担当者名	30/15	文字列		スペース	
8	8	部門コード	6	文字列		桁数分の0	※(マスター)
9	9	担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁	桁数分の0	※(マスター)
10	10	摘要コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
11	11	摘要名	30/15	文字列		スペース	
12	12	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※2
13	13	マスター区分	1	数字		0(一般商品)	0:一般商品、1:雑商品、2:諸雑費、3:値引、4:記事
14	14	商品名	36/18	文字列		スペース	
15	15	倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
16	16	※入数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	0	
17	17	※箱数	11	数字(-)	Rev4.00で4桁→11桁	0	※3
18	18	数量	9	数字(-)		◎(一般商品のとき)	
19	19	※単位	4/2	文字列		スペース	
20	20	単価	9	数字		0	
21	21	受注金額	11	数字(-)		0	内税商品の場合、内税額も含まれます。 ※4
22	22	原単価	9	数字		0	
23	23	原価金額	11	数字(-)		0	
24	24	粗利益	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
25	25	外税額	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
26	26	内税額	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
27	27	税区分	1	数字		商品マスターから	0:非課税、1~9:会社基本情報の税率テーブル
28	28	税込区分	1	数字		商品マスターから	0:税抜 1:税込
29	29	備考	20/10	文字列		スペース	
30	30	標準価格	9	数字		0	※5
31	31	自動発注区分	1	数字		0(自動発注しない)	0:自動発注しない、1:自動発注する
32	32	売単価	10	数字(-)	Xでマックスも可に	0	
33	33	売価金額	11	数字(-)		0	
34	34	※規格・型番	36/18	文字列		スペース	
35	35	※色	7/3	文字列		スペース	
36	36	※サイズ	5/2	文字列		スペース	
37	37	計算式コード	2	数字		0	※(マスター)
38	38	※商品項目1	12	数字(-)		0	
39	39	※商品項目2	12	数字(-)		0	
40	40	※商品項目3	12	数字(-)		0	
41	41	※売上項目1	12	数字(-)		0	
42	42	※売上項目2	12	数字(-)		0	
43	43	※売上項目3	12	数字(-)		0	
44	44	税率	5	数字		税率表から	※6
45	45	伝票消費税額	11	数字(-)	8V2で追加	0	
46	46	※プロシエトコード	16	文字列	9V2で追加	スペース	※(マスター) ※(禁止)
47	47	※受注No2	16	文字列	9V2で追加	スペース	
48	48	明細納期	8	数字	Rev4.00で追加	伝票の納期	
49	49	データ区分	1	数字	Rev4.00で追加	0	0:明細 1:税率別伝票消費税額
50	50	※商品名2	256/128	文字列	Rev4.20で追加	スペース	
51	51	単位区分	1	数字	Rev4.50で追加	0:単位区分1	0~4(単位区分1~5)
52	52	ロットNo	20	文字列	Rev4.50で追加	スペース	※(ロット)
53	54	売上税種別	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:標準税率 1:軽減税率
54	55	原価税込区分	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:税抜 1:税込
55	56	原価税率	5	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	※6
56	57	原価税種別	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:標準税率 1:軽減税率

キー項目 = 「受注No」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「%text version='8' %」が出力されます。

- ※1 得意先に請求先が設定されているときは、下記のチェックを行います。
 - ・得意先マスターに請求先が登録されていないと、受け入れができません。
 - ・請求先に請求先が設定されているときは、受け入れができません。
- ※2 商品のシステム区分が[2:仕入専用]のときは、受け入れができません。
- ※3 マスター区分が[0:一般商品]で計算式コードが0のとき、箱数が0以外で入数が0ならば、受け入れができません。
- ※4 マスター区分が[0:一般商品]のとき、数量と受注金額の符号が不一致なら、受け入れができません。
マスター区分が[0:一般商品][1:雑商品]のとき、受注金額と原価金額の符号が不一致なら、受け入れができません。
- ※5 マスター区分が[1:雑商品][2:諸雑費]のとき、小数点以下に数字があると受け入れができません。
- ※6 会社基本情報の税率テーブルに登録されていないと、受け入れができません。

◆売上傳票データ (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	伝区	1	数字			0:掛売、1:現収、2:カード、3:その他、5:仮伝、6:契約
2	2	売上日	8	数字			
3	3	請求日	8	数字			
4	4	伝票No	8	数字	9V2で6桁→8桁		
5	5	得意先コード	13	文字列			
6	6	得意先名	40/20	文字列			
7	7	直送先コード	13	文字列			
8	8	先方担当者名	30/15	文字列			
9	9	部門コード	6	文字列			
10	10	担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁		
11	11	摘要コード	6	文字列	Xで4桁→6桁		
12	12	摘要名	30/15	文字列			
13	13	分類コード	4	文字列			
14	14	伝票区分	2	文字列			
15	15	売上金額	11	数字(-)			外税を含みません。ただし、内税は含みます。
16	16	消費税額	11	数字(-)			外税のみ含まれます。内税商品が混在する場合の内税額は含みません。
17	17	※プロジェクトコード	16	文字列	9V2で追加		
18	18	※伝票No2	16	文字列	9V2で追加		

キー項目 = 「得意先コード」 + 「売上日」 + 「伝票No」 + 「伝区」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version=’5’ ¥”が出力されます。

※このデータから受入はできません。

◆売上明細データ (version 8.1)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	伝区	1	数字		0(掛売)	0:掛売、1:現収、2:カード、3:その他、5:仮伝、6:契約
2	2	売上日	8	数字		◎	
3	3	請求日	8	数字		0	
4	4	伝票No	8	数字	9V2で6桁→8桁	◎	
5	5	得意先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
6	6	得意先名	40/20	文字列		スペース	
7	7	直送先コード	13	文字列		スペース	※(マスター) ※(禁止)
8	8	先方担当者名	30/15	文字列		スペース	
9	9	部門コード	6	文字列		桁数分の0	※(マスター)
10	10	担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁	桁数分の0	※(マスター)
11	11	摘要コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
12	12	摘要名	30/15	文字列		スペース	
13	13	分類コード	4	文字列		スペース	
14	14	伝票区分	2	文字列		スペース	
15	15	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※2
16	16	マスター区分	1	数字		0(一般商品)	0:一般商品、1:雑商品、2:諸雑費、3:値引、4:記事
17	17	商品名	36/18	文字列		スペース	
18	18	区	1	数字	Xで変更	0(通常売上)	0:売上、1:返品、2:単価訂正、9:一般商品以外を示す
19	19	倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
20	20	※入数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	0	
21	21	※箱数	11	数字(-)	Rev4.00で4桁→11桁	0	※3
22	22	数量	9	数字(-)		◎(一般商品のとき)	
23	23	※単位	4/2	文字列		スペース	
24	24	単価	10	数字(-)		0	
25	25	売上金額	11	数字(-)		0	内税商品の場合、内税額も含まれます。 ※4
26	26	原単価	9	数字		0	
27	27	原価金額	11	数字(-)		0	
28	28	粗利益	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
29	29	外税額	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
30	30	内税額	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
31	31	税区分	1	数字		商品マスターから	0:非課税、1~9:会社基本情報の税率テーブル
32	32	税込区分	1	数字		商品マスターから	0:税抜 1:税込
33	33	備考	20/10	文字列		スペース	
34	34	標準価格	9	数字		0	※5
35	35	同時入荷区分	1	数字		0(自動入荷しない)	0:自動入荷しない、1:自動入荷する
36	36	売単価	10	数字(-)	Xでマックス可に	0	
37	37	売価金額	11	数字(-)		0	
38	38	※規格・型番	36/18	文字列		スペース	
39	39	※色	7/3	文字列		スペース	
40	40	※サイズ	5/2	文字列		スペース	
41	41	計算式コード	2	数字		0	※(マスター)
42	42	※商品項目1	12	数字(-)		0	
43	43	※商品項目2	12	数字(-)		0	
44	44	※商品項目3	12	数字(-)		0	
45	45	※売上項目1	12	数字(-)		0	
46	46	※売上項目2	12	数字(-)		0	
47	47	※売上項目3	12	数字(-)		0	
48	48	税率	5	数字		税率表から	※6
49	49	伝票消費税額	11	数字(-)	8V2で追加	0	
50	50	※フロッグコード	16	文字列	9V2で追加	スペース	※(マスター) ※(禁止)
51	51	※伝票No2	16	文字列	9V2で追加	スペース	
52	52	データ区分	1	数字	Rev4.00で追加	0	0:明細 1:税率別伝票消費税額
53	53	※商品名2	256/128	文字列	Rev4.20で追加	スペース	
54	54	単位区分	1	数字	Rev4.50で追加	0:単位区分1	0~4(単位区分1~5)
55	55	ロットNo	20	文字列	Rev4.50で追加	スペース	※(ロット)
56	68	売上税種別	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:標準税率 1:軽減税率
57	69	原価税込区分	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:税抜 1:税込
58	70	原価税率	5	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	※6
59	71	原価税種別	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:標準税率 1:軽減税率

キー項目 = 「得意先コード」 + 「売上日」 + 「伝票No」 + 「伝区」
「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「%text version='8' %」が出力されます。

- ※1 得意先に請求先が設定されているときは、下記のチェックを行います。
 ・得意先マスターに請求先が登録されていないと、受け入れができません。
 ・請求先に請求先が設定されているときは、受け入れができません。
- ※2 商品のシステム区分が[2:仕入専用]のときは、受け入れができません。
- ※3 マスター区分が[0:一般商品]で計算式コードが0のとき、箱数が0以外で入数が0ならば、受け入れができません。
- ※4 マスター区分が[0:一般商品]で、区が[2:単価訂正]以外の時、数量と売上金額の符号が不一致なら、受け入れができません。
 マスター区分が[0:一般商品][1:雑商品]のとき、売上金額と原価金額の符号が不一致なら、受け入れができません。
- ※5 マスター区分が[1:雑商品][2:諸雑費]のとき、小数点以下に数字があると受け入れができません。
- ※6 会社基本情報の税率テーブルに登録されていないと、受け入れができません。

◆入金データ (version 6)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	入金日	8	数字		◎	
2	2	伝票No	8	数字	9V2で6桁→8桁	◎	
3	3	得意先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※2
4	4	得意先名	40/20	文字列		受入できません	
5	5	照合口座番号	10	文字列		スペース	
6	6	現金	11	数字(-)		◎ ※1	
7	7	小切手	11	数字(-)		◎ ※1	
8	8	振込	11	数字(-)		◎ ※1	
9	9	手形	11	数字(-)		◎ ※1	
10	10	相殺	11	数字(-)		◎ ※1	
11	11	値引	11	数字(-)		◎ ※1	
12	12	その他	11	数字(-)		◎ ※1	
19	19	電債	11	数字(-)		◎ ※1	
13	13	手形期日	8	数字		0	※3
14	14	手形番号	10	文字列		スペース	
15	15	摘要名	30/15	文字列		スペース	
16	16	対象請求日	8	数字		0	
17	17	※7 外コード	16	文字列	9V2で追加	スペース	※(マスター) ※(禁止)
18	18	会社口座コード	2	文字列	Xで追加	スペース	※(前0) ※(マスター)
20	20	支払期日	8	数字	Rev4. 10で追加	0	※3
21	21	記録番号	20	文字列	Rev4. 10で追加	スペース	

キー項目 = 「得意先コード」 + 「入金日」 + 「伝票No」
「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version= 6” ¥”が出力されます。

- ※1 入金額（現金～電債）を、どれか一つは指定する必要があります。
- ※2 得意先に請求先が設定されているときは、受け入れができません。
- ※3 手形期日が指定されていて、手形金額が0以外のとき、「手形期日」 ≤ 「入金日」であれば、受け入れができません。
支払期日が指定されていて、電債金額が0以外のとき、「支払期日」 ≤ 「入金日」であれば、受け入れができません。

◆発注明細データ (version 8.1)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	注文No	8	数字	9V2で6桁→8桁	◎	
2	2	発注方法	1	数字		受入できません	0:個別発注、1:一括発注、2:引当発注、3:在庫補充
3	3	発注日	8	数字		◎	
4	4	納期	8	数字		0	
5	5	発注先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
6	6	発注先名	40/20	文字列		スペース	
7	7	先方担当者名	30/15	文字列		スペース	
8	8	部門コード	6	文字列		桁数分の0	※(マスター)
9	9	担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁	桁数分の0	※(マスター)
10	10	摘要コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
11	11	摘要名	30/15	文字列		スペース	
12	12	直送先フラグ	1	数字	8V2で追加	0(直送先コード)	0:直送先コード、1:得意先コード
13	13	直送先コード	13	文字列	8V2で追加	スペース	※(マスター) ※(禁止) ※2
14	14	直送先担当者名	30/15	文字列	8V2で追加	スペース	
15	15	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※3
16	16	マスター区分	1	数字		0(一般商品)	0:一般商品、1:雑商品、2:諸雑費、3:値引、4:記事
17	17	商品名	36/18	文字列		スペース	
18	18	倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
19	19	※入数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	0	
20	20	※箱数	11	数字(-)	Rev4.00で4桁→11桁	0	※4
21	21	数量	9	数字(-)		◎(一般商品のとき)	
22	22	※単位	4/2	文字列		スペース	
23	23	単価	9	数字		0	
24	24	発注金額	11	数字(-)		0	内税商品の場合、内税額も含まれます。 ※5
25	25	外税額	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
26	26	内税額	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
27	27	税区分	1	数字		商品マスターから	0:非課税、1~9:会社基本情報の税率テーブル
28	28	税込区分	1	数字		商品マスターから	0:税抜 1:税込
29	29	備考	20/10	文字列		スペース	
30	30	入荷数累計	9	数字(-)		受入できません	
31	31	※規格・型番	36/18	文字列		スペース	
32	32	※色	7/3	文字列		スペース	
33	33	※サイズ	5/2	文字列		スペース	
34	34	計算式コード	2	数字		0	※(マスター)
35	35	※商品項目1	12	数字(-)		0	
36	36	※商品項目2	12	数字(-)		0	
37	37	※商品項目3	12	数字(-)		0	
38	38	※仕入項目1	12	数字(-)		0	
39	39	※仕入項目2	12	数字(-)		0	
40	40	※仕入項目3	12	数字(-)		0	
41	41	税率	5	数字		税率表から	※6
42	42	伝票消費税額	11	数字(-)	8V2で追加	0	
43	43	※グローバルコード	16	文字列	9V2で追加	スペース	※(マスター) ※(禁止)
44	44	※注文No2	16	文字列	9V2で追加	スペース	
45	45	明細納期	8	数字	Rev4.00で追加	伝票の納期	
46	46	データ区分	1	数字	Rev4.00で追加	0	0:明細 1:税率別伝票消費税額
47	47	※商品名2	256/128	文字列	Rev4.20で追加	スペース	
48	48	単位区分	1	数字	Rev4.50で追加	0:単位区分1	0~4(単位区分1~5)
49	50	仕入税種別	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:標準税率 1:軽減税率

キー項目 = 「注文No」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「%text version='8' %」が出力されます。

※1 仕先に支払先が設定されているときは、下記のチェックを行います。

- ・仕入先マスターに支払先が登録されていないと、受け入れができません。
- ・支払先に支払先が設定されているときは、受け入れができません。

※2 直送先フラグの設定により、直送先か得意先になります。

※3 商品のシステム区分が[1:売上専用]のときは、受け入れができません。

※4 マスター区分が[0:一般商品]で計算式コードが0のとき、箱数が0以外で入数が0ならば、受け入れができません。

※5 マスター区分が[0:一般商品]のとき、数量と発注金額の符号が不一致なら、受け入れができません。

※6 会社基本情報の税率テーブルに登録されていないと、受け入れができません。

◆仕入伝票データ (version 5)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	入荷方法	1	数字			0:通常仕入、1:製品完成
2	2	科目区分	1	数字			0:仕入、1:仕入以外
3	3	伝区	1	数字			0:掛買、1:現金、2:カード、3:その他、5:内製、6:契約
4	4	仕入日	8	数字			
5	5	精算日	8	数字			
6	6	伝票No	8	数字	9V2で6桁→8桁		
7	7	仕入先コード	13	文字列			
8	8	仕入先名	40/20	文字列			
9	9	先方担当者名	30/15	文字列			
10	10	部門コード	6	文字列			
11	11	担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁		
12	12	摘要コード	6	文字列	Xで4桁→6桁		
13	13	摘要名	30/15	文字列			
14	14	仕入金額	11	数字(-)			外税を含みません。ただし、内税は含みます。
15	15	消費税額	11	数字(-)			外税のみ含まれます。内税商品が混在する場合の内税額は含みません。
16	16	※プロジェクトコード	16	文字列	9V2で追加		
17	17	※伝票No2	16	文字列	9V2で追加		

キー項目 = 「科目区分」 + 「仕入先コード」 + 「仕入日」 + 「伝票No」 + 「伝区」
「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“¥text version='5' ¥”が出力されます。

※このデータから受入はできません。

◆仕入明細データ (version 9)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	入荷方法	1	数字		受入できません	0:通常仕入、1:製品完成
2	2	科目区分	1	数字		0(仕入)	0:仕入、1:仕入以外
3	3	伝区	1	数字		0(掛買)	0:掛買、1:現金、2:カード、3:その他、5:内製、6:契約 ※1
4	4	仕入日	8	数字		◎	
5	5	精算日	8	数字		0	
6	6	伝票No	8	数字	9V2で6桁→8桁	◎	
7	7	仕入先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※2
8	8	仕入先名	40/20	文字列		スペース	
9	9	先方担当者名	30/15	文字列		スペース	
10	10	部門コード	6	文字列		桁数分の0	※(マスター)
11	11	担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁	桁数分の0	※(マスター)
12	12	摘要コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
13	13	摘要名	30/15	文字列		スペース	
14	14	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※3
15	15	マスター区分	1	数字		0(一般商品)	0:一般商品、1:雑商品、2:諸雑費、3:値引、4:記事
16	16	商品名	36/18	文字列		スペース	
17	17	区	1	数字	Xで変更	0(通常仕入)	0:仕入、1:返品、2:単価訂正、9:一般商品以外を示す
18	18	倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
19	19	※入数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	0	
20	20	※箱数	11	数字(-)	Rev4.00で4桁→11桁	0	※4
21	21	数量	9	数字(-)		◎(一般商品のとき)	
22	22	※単位	4/2	文字列		スペース	
23	23	単価	10	数字(-)		0	
24	24	金額	11	数字(-)		0	内税商品の場合、内税額も含まれます。 ※5
25	25	外税額	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
26	26	内税額	11	数字(-)		受入できません	受入時に計算されます。
27	27	税区分	1	数字		商品マスターから	0:非課税、1~9:会社基本情報の税率テーブル
28	28	税込区分	1	数字		商品マスターから	0:税抜 1:税込
29	29	備考	20/10	文字列		スペース	
30	30	※規格・型番	36/18	文字列		スペース	
31	31	※色	7/3	文字列		スペース	
32	32	※サイズ	5/2	文字列		スペース	
33	33	計算式コード	2	数字		0	※(マスター)
34	34	※商品項目1	12	数字(-)		0	
35	35	※商品項目2	12	数字(-)		0	
36	36	※商品項目3	12	数字(-)		0	
37	37	※仕入項目1	12	数字(-)		0	
38	38	※仕入項目2	12	数字(-)		0	
39	39	※仕入項目3	12	数字(-)		0	
40	40	税率	5	数字		税率表から	※6
41	41	伝票消費税額	11	数字(-)	8V2で追加	0	
42	42	※プロジェクトコード	16	文字列	9V2で追加	スペース	※(マスター) ※(禁止)
43	43	※伝票No2	16	文字列	9V2で追加	スペース	
44	44	データ区分	1	数字	Rev4.00で追加	0	0:明細 1:税率別伝票消費税額
45	45	※商品名2	256/128	文字列	Rev4.20で追加	スペース	
46	46	単位区分	1	数字	Rev4.50で追加	0:単位区分1	0~4(単位区分1~5)
47	47	ロットNo	20	文字列	Rev4.50で追加	スペース	※(ロット)
48	48	ロット有効期限	8	数字	Rev4.50で追加	0	※(ロット)
49	49	仕入税種別	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:標準税率 1:軽減税率

キー項目 = 「科目区分」 + 「仕入先コード」 + 「仕入日」 + 「伝票No」 + 「伝区」
「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「¥text version='8' ¥」が出力されます。

※1 科目区分が[1:仕入以外]で、伝区が[5:内製]のときは、受け入れができません。

※2 仕入先に支払先が設定されているときは、下記のチェックを行います。

- ・仕入先マスターに支払先が登録されていないと、受け入れができません。
- ・支払先に支払先が設定されているときは、受け入れができません。

※3 商品のシステム区分が[1:売上専用]のときは、受け入れができません。

※4 マスター区分が[0:一般商品]で計算式コードが0のとき、箱数が0以外で入数が0ならば、受け入れができません。

※5 マスター区分が[0:一般商品]で、区が[2:単価訂正]以外のとき、数量と金額の符号が不一致なら、受け入れができません。

※6 会社基本情報の税率テーブルに登録されていないと、受け入れができません。

◆出荷明細データ (version 9)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	出荷方法	1	数字		受入できません	0:個別出荷、1:一括払出
2	2	出荷日	8	数字		◎	
3	3	伝票No	8	数字	9V2で6桁→8桁	◎	
4	4	出荷先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止)
5	5	出荷先名	40/20	文字列		スペース	
6	6	先方担当者名	30/15	文字列		スペース	
7	7	部門コード	6	文字列		桁数分の0	※(マスター)
8	8	担当者コード	13	文字列	Xで10桁→13桁	桁数分の0	※(マスター)
9	9	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
10	10	商品名	36/18	文字列		スペース	
11	11	倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	桁数分の0	※(マスター)
12	12	※入数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	0	
13	13	※箱数	11	数字(-)	Rev4.00で4桁→11桁	0	※2
14	14	数量	9	数字(-)		◎	
15	15	※単位	4/2	文字列		スペース	
16	16	単価	9	数字		0	
17	17	出荷金額	11	数字(-)		0	※3
18	18	税区分	1	数字		商品マスターから	0:非課税、1~9:会社基本情報の税率テーブル
19	19	税込区分	1	数字		商品マスターから	0:税抜 1:税込
20	20	備考	20/10	文字列		スペース	
21	21	※規格・型番	36/18	文字列		スペース	
22	22	※色	7/3	文字列		スペース	
23	23	※サイズ	5/2	文字列		スペース	
24	24	税率	5	数字		税率表から	※4
25	25	※プロジェクトコード	16	文字列	9V2で追加	スペース	※(マスター) ※(禁止)
26	26	※商品名2	256/128	文字列	Rev4.20で追加	スペース	
27	27	ロットNo	20	文字列	Rev4.50で追加	スペース	※(ロット)
28	28	売上税種別	1	数字	Rev5.00で追加	「概要」を参照	0:標準税率 1:軽減税率

キー項目 = 「出荷先コード」 + 「出荷日」 + 「伝票No」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると“%text version=’8’ %”が出力されます。

- ※1 商品のシステム区分が[1:売上専用]のときは、受け入れができません。
商品のマスター区分が[0:一般商品]以外のときは、受け入れができません。
商品の在庫管理が[1:管理しない]のときは、受け入れができません。
- ※2 箱数が0以外で入数が0ならば、受け入れができません。
- ※3 数量と出荷金額の符号が不一致なら、受け入れができません。
- ※4 会社基本情報の税率テーブルに登録されていないと、受け入れができません。

◆支払データ (version 6)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	科目	1	数字		0(買掛)	0:買掛、1:未払
2	2	支払日	8	数字		◎	
3	3	伝票No	8	数字	9V2で6桁→8桁	◎	
4	4	支払先コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※2
5	5	支払先名	40/20	文字列		受入できません	
6	6	現金	11	数字(-)		◎ ※1	
7	7	小切手	11	数字(-)		◎ ※1	
8	8	振込	11	数字(-)		◎ ※1	
9	9	手形	11	数字(-)		◎ ※1	
10	10	相殺	11	数字(-)		◎ ※1	
11	11	値引	11	数字(-)		◎ ※1	
12	12	その他	11	数字(-)		◎ ※1	
19	19	電債	11	数字(-)	Rev4. 10で追加	◎ ※1	
13	13	手形期日	8	数字		0	※3
14	14	手形番号	10	文字列		スペース	
15	15	摘要名	30/15	文字列		スペース	
16	16	対象精算日	8	数字		0	
17	17	※7の以外コード	16	文字列	9V2で追加	スペース	※(マスター) ※(禁止)
18	18	会社口座コード	2	文字列	Xで追加	スペース	※(前0) ※(マスター)
20	20	支払期日	8	数字	Rev4. 10で追加	0	※3
21	21	記録番号	20	文字列	Rev4. 10で追加	スペース	
22	22	振込先番号	1	数字	Rev4. 10で追加	1	1~5 (仕入先マスターの振込先)

キー項目 = 「科目」 + 「支払先コード」 + 「支払日」 + 「伝票No」
「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「¥text version= 6 ¥」が出力されます。

- ※1 支払額（現金～電債）を、どれか一つは指定する必要があります。
- ※2 支払先に支払先が設定されているときは、受け入れができません。
- ※3 手形期日が指定されていて、手形金額が0以外のとき、「手形期日」 ≤ 「支払日」であれば、受け入れができません。
支払期日が指定されていて、電債金額が0以外のとき、「支払期日」 ≤ 「支払日」であれば、受け入れができません。

◆振替明細データ (version 8)

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	振替日	8	数字		◎	
2	2	伝票No	8	数字	9V2で6桁→8桁	◎	
3	3	出荷倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	◎	※(マスター)
4	4	入荷倉庫コード	6	文字列	Xで4桁→6桁	◎	※(マスター)
5	5	商品コード	13	文字列		◎	※(マスター) ※(禁止) ※1
6	6	商品名	36/18	文字列		スペース	
7	7	※入数	10	数字	Rev4.00で4桁→10桁	0	
8	8	※箱数	11	数字(-)	Rev4.00で4桁→11桁	0	※2
9	9	数量	9	数字(-)		◎	
10	10	※単位	4/2	文字列		スペース	
11	11	単価	9	数字		0	
12	12	振替金額	11	数字(-)		0	※3
13	13	備考	20/10	文字列		スペース	
14	14	※規格・型番	36/18	文字列		スペース	
15	15	※色	7/3	文字列		スペース	
16	16	※サイズ	5/2	文字列		スペース	
17	17	※商品名2	256/128	文字列	Rev4.20で追加	スペース	
18	18	ロットNo	20	文字列	Rev4.50で追加	スペース	※(ロット)

キー項目 = 「振替日」 + 「伝票No」

「バージョンを出力する」にチェックマークを付けると「%text version='8' ¥」が出力されます。

- ※1 商品のシステム区分が[1:売上専用]のときは、受け入れができません。
商品のマスター区分が[0:一般商品]以外のときは、受け入れができません。
商品の在庫管理が[1:管理しない]のときは、受け入れができません。
- ※2 箱数が0以外で入数が0ならば、受け入れができません。
- ※3 数量と振替金額の符号が不一致なら、受け入れができません。

◆システムユーザー（versionなし）

順序	項番	項目名	桁数	型	変更履歴	必須項目・初期値	備考
1	1	ユーザーID	90/45	文字列			※1
2	2	ユーザー名	50/25	文字列			※1
3	3	ユーザー略称	6/3	文字列			※1
4	4	ユーザーレベル	1	数字		0	0:一般ユーザー、1:システム管理者
5	5	利用区分	1	数字		0	0:有効、1:無効

※1 データ読込時は必須ではありませんが、一括登録時の必須項目になります。